

最優秀賞

四国税理士会高知支部
須崎部会 部長賞

七里小 三年 前田結菜

七里小 二年 前田結菜

七里小 二年 東友菜

金賞

須崎税務署管内納税貯蓄組合連合会
組合連合会 会長賞

窪川小学校3年 前田 結菜

窪川小学校4年 友永 鈴奈

窪川小学校4年 竹内 柊杜

窪川小学校2年 東 友菜



窪川高校しまんと部が四万十町の魅力を発信 グランピング施設に宿泊して取材活動

窪川高校しまんと部はInstagramを開設して窪川高校や四万十町の魅力発信を行っています。

今回は、スカイヒルゴルフクラブのグランピング施設で1泊2日の取材活動を行わせていただきました。私たちが泊まったお部屋は「ダイナソー」と「アクア」で、「ダイナソー」には恐竜が、「アクア」にはサメやウミガメなど海の生き物がたくさんいて、お洒落だけではなく遊び心も満載でした。夕食には厳選された四万十町産の食材を使ったBBQ。日常の中の非日常を味わえ、やりたいことが尽きず、1日だけではなくもっと泊まりたいと思える素敵な場所でした。

窪川高校
しまんと部
Instagram
@shimanto.club



令和6年 四万十消防出初式 消防関係者が一堂に会し、決意を新たに！

1月21日、四万十緑林公園駐車場にて2年ぶりとなる四万十消防出初式が行われました。式典には関係者262名が参加し、四万十消防団の橋本章一団長の訓示、中尾博憲町長の挨拶に続き、長期勤続団員の功労賞などの表彰式が行われました。

その後、新入団員の紹介や機械器具点検が行われ、最後には赤・青・緑・黄色に彩られた一斉放水で全日程を終りました。



令和5年度「税に関する作品」の 入賞作品紹介

将来を担う児童・生徒に税金への理解・関心を深めてもらうため、須崎税務署管内租税教育推進協議会主催による「税に関する作品」の募集があり、町内からは書道と作文で入賞することができました。

税金で支え合う私たち

須崎税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

四万十町立十川中学校 三年一組 楠原 万利衣

私は全員が同じ割合税を納めないといけないことに違和感がありました。だけど母の税の説明を聞いてから意見が変わりました。私は初め、例えば給料から二割税が抜かれると考えたら、二十万円稼ぐ人は四万円、百万稼ぐ人は二十万円払わないといけないと思ったとき、がんばって働いている人ほど税を多く払わないといけないということに不公平だなと感じていました。ただある日自分の意見を母に言う、「じゃあ、月に二十万と百万稼ぐ人がいるとして全員必ず十五万円納税しろって言われたとき、百万の人は八十五万残るけど二十万の人は五万円で生活していかないといけないよ」と言いました。私は、それなら確かにみんなが同じ金額納めていたら、収入がなくなってしまう人がいるから、税金というのは決まった金額ではなく、割合で引かれることに納得できました。

ただ次は「払っている税金はどこへ行くのか」が気になり母に聞くと、私たちが学校に通えるための費用や火事が起こった時の消火費、道路に破損などがあつたときの工事費になっていると聞いて、先生や消防士、建設士の人は公務員といって税が給料になっていることは知っていたけどそのためにもらっていた税の給料と知ることができました。私たちの社会はこうやって税を通じて支え、支えられる関係性になっています。自分たちの生活に税が直接はあまり関わっていないから少し前の私のように税の仕組みも知らず「税金なんてなくなったらいいのに」と思う人がいるかもしれないけど、自分が思っているよりはるかに税金は生活において欠かせないものになっています。

私が普段買い物で払っている消費税もいつか自分や他の誰かの役に立つと考えたらとても嬉しいのです。今私は消費税しか払うことしかできないけど、大人になったとき、決まりを守って社会貢献が出来る人になりたいです。そのために今はしっかり勉強をがんばったり心かげようと思えます。

少子高齢化が進んでいる現代社会で自分が働く歳になったら今より更に働き手が減るかもしれないけど、未来も変わらず税金で人同士が支え合っていることを忘れず暮らしていけることを祈っています。

私と税との繋がり

須崎税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

四万十町立大正中学校 三年一組 大田 理乃

私たちが税の繋がりと聞いて何を思い浮かべますか。私は、税と聞いて「消費税」という言葉が一番に思い浮かびました。しかし、その消費税たちのゆくえは詳しく知りませんでした。

そこで、社会の授業で税について学びました。私たちの生活は税がないと成り立たないという言葉聞き驚きました。消費税率引き上げをやめてほしいと思っていた私の心は消えました。消費税の他にも、個人の1年間の所得に対してかかる所得税、自動車所有しているときにかかる自動車税などもありました。こんなに沢山税金を集めて何に使われているのかなと更に気になりました。そして同時にこんなに沢山の税を納めている両親もすごいなあと思いました。

税金の使われ方として最も多いものは、社会保障関係費でした。この言葉を聞いただけでは、よくわかりませんでした。調べてみると私たちの健康や生活を保障する費用だと知りました。医療、年金、生活保護などに使われています。中学生の私と一番繋がりの強い税金の使われ方は、文教及び科学振興費だと思いました。小学一年生から毎年教科書が無償で配られているのもすべて税金のおかげなんだと思いました。今年から私の住む町では高校生までの医療費や給食費、保育費が無償となりました。母親もとてもありがたいと喜んでいました。教科書無償に加え、ワークなども無償となり、少しでもこの町に住みたいという方が増え町の活性化に繋がればなと思いました。

私の父親は、公務員です。公務員の給料も税金から支払われていると知り、とても驚きました。警察官や消防士があたりまえのように動いていると思っていたけど、それも税金のおかげでした。社会の授業を通して、税に対しての見方が変わりました。今の私は税に対して思うことは一つ、「税金は日本を支えている」ということです。私も大人になれば、税と関わる機会も増えると思うので、私が安心して暮らしているのは税のおかげということを忘れず暮らしていきます。「私たちの暮らしと税は繋がっている」そう心に刻みました。